

第30回全国学童保育指導員学校北関東会場

と き 2005年 6月26日(日)
ところ 足利市民会館(全体会と講座)
足利市研修センター(講座)
受講料 2,000円 弁当代別 700円

内 容
【日程】 9:15 10:00 12:00 13:00 16:00

受付	全体会	昼食	講座(16教室)
----	-----	----	----------

全体会

基調報告 全国学童保育連絡協議会

全体講義 「ちからを合わせて発達保障を」

【講師】 茂木 俊彦 (桜美林大学教授)

茂木俊彦(もぎ・としひこ)

群馬県生まれ。

東京大学教育学部教育心理学科卒業。

東京都立大学人文学部教授、同総長を歴任し、
今4月から現職。

専門分野は、教育心理学、障害児教育学。

主な著書に、『障害児と教育』(岩波新書)

『改訂版テキスト障害児保育』(共編、全障研出版部)

『ノーマライゼーションと障害児教育』(全障研出版部)

『統合保育で障害児は育つか』(大月書店)

『子どものためのバリアフリーブック・障害を知る本』
(監修、全11巻、大月書店)

『難病の子どもを知る本』(監修、全8巻、大月書店)

『発達保障を学ぶ』(全障研出版部)

『親と先生の共同ですすめる障害児の子育て』

(全障研出版部)などがある。



午後の講座

* 講座の末尾の番号は、指導員の研修科目（試案）に該当するものです。

入門講座

指導員として基本的な事項を学びます。

1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か 【講師】片山恵子(全国学童保育連絡協議会)
学童保育は共働き、一人親家庭の親の労働を保障し、子どもたちの生活を守る場です。指導員は、日々子どもたちの生活をつくることを通して、親が安心して働くことを保障しています。

学童保育の役割、指導員の仕事・役割について学びます。

- 1 -

2 学童保育の生活で大切にしたいこと 【講師】林谷政子(栃木県宇都宮市指導員)

子どもたちは放課後の時間を楽しくすごそうと学童保育に帰ってきます。また夏休みなどは朝から学童保育ですごします。指導員は、一人ひとりの子どもが安心してのびのび生活する場を子どもと一緒につくっていきます。学童保育の生活とは何か、指導員の関わり方を学びます。

- 1 -

3 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の事務 【講師】河野伸枝(埼玉県飯能市指導員)

新しい指導員は子どもと一日、どうすごせばよいか悩みます。宿題、おやつ、あそび等の流れをどう作るか。掃除・片づけや行事などのとりくみもあります。年間の流れ、一日の流れをどうつくっていくかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、父母や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務の確かめも併せて行ないます。

- 3

4 子どものケガ・事故への対応、安全管理 【講師】坪 好子(埼玉県所沢市指導員)

毎日を安全に過ごすことは生活づくりの基本です。そのための安全管理は重要です。万一起こった場合でも最小限のものとなるように対応・対処をする必要があります。学童保育の現場でどんなケガや事故が起きやすいか、極力起こさないための安全管理、事後の対処などについて学びます。

- 2

5 実践を記録する 【講師】山本博美(全国学童保育連絡協議会)

実践を記録することは、指導員自身が実践を振り返って確かめ、よりゆたかな実践をつくっていく上で大切な仕事です。記録をもとにして学びあうこと、この積み重ねが実践の向上に確実につながります。しかし、とりくんでいる学童保育はまだまだ多くありません。実践を記録することの意味を学びます。

- 1

理論講座

子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます。

6 障害のある子をどう理解するか

【講師】妹尾豊広(全国障害者問題研究会)

学童保育では障害児の受け入れの条件づくりにもとりくみながら、できる限り障害児入所のための努力を続けてきました。また友だちとの生活や関わり、指導員の適切なはたらきかけの中で障害児が育つことを確かめてきました。障害と障害児をどう理解するのか、生活づくりで配慮することなどを学びます。

- 4

7 子どもの発達のおもしろさを学ぶ

【講師】大津悦夫(立正大学)

指導員の仕事を進めるうえで、子どもを深くとらえることが求められます。そのためにも、学齢期の子どもの発達の特徴を理解することは大事なことです。今日、学力競争や「いじめ」等の問題もあり子どもたちが育ちそびれている実態がある中で、子どもをよりにていねいとらえることが求められています。その上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。

- 2

8 今日の子どもの心と身体

【講師】荒井育恵(埼玉県蕨市小学校教諭)

現在、子どもたちの身体のおかしさ、その心への影響が問題になっています。成長期にある子どもの心と身体について、食生活や生活リズムなど家庭や日常生活のあり方をとらえなおし、大切にしたいことを学びます。

- 6

9 子どもとのかかわり方 ~カウンセリングの手法から~

【講師】田中邦子(埼玉いのちの電話)

子どもたちは様々な思いをかかえて学童保育に通ってきています。「子どもの心によりそう」ことや「子どもの思いを受けとめる」ことはどういうことかを学びます。

- 6 -

実践講座

指導員の仕事を実践的に学びます。

10 学童保育の生活とあそび

【講師】川岸洋子(栃木県足利市指導員)

子どもにとってあそびは何かのためにするのではなく、それ自体が目的です。子どもたちは友だちとの関わりでいろいろなあそびを見つけ、また指導員もいろいろなあそびを子どもたちに伝え、いっしょにあそんでいます。学童保育の中でのあそびの意味、どう展開していくか、指導員の配慮の仕方などを学びます。

- 2

11 子どもの生活を父母と伝え合う

【講師】橋本幸治(茨城県ひたちなか市指導員)

父母は、わが子が学童保育に楽しく通い、育っている実感があって、初めて安心して働き続けることができます。父母と伝え合うことの重要性、何をどのように伝え合うのかを学びます。

- 6

12 年間計画と行事

【講師】山田 正人(群馬県桐生市指導員)

行事は生活の節目として、多くの子どもたちが楽しみにしています。学童保育では、子どもたちの継続的で安定した生活をつくるために、年間計画を立てます。

計画を立てる際の留意点と行事の位置づけや配慮したいことを学びます。 - 4 -

13 高学年を含めた生活づくり

【講師】土屋きみ子(群馬県高崎市指導員)

思春期の入り口にある高学年の、一人ひとりの子どもたちのおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた生活づくりで、大切にしたいことを学びます。 - 5 -

14 障害のある子を含めた生活づくり

【講師】竹内れい子(埼玉県草加市指導員)

障害児のいる学童保育は増えています。障害のある子どもが学童保育の仲間として、ともに育ちあうための生活づくりとは何か、自分の要求を表現し仲間と関わっていけるように、どのようなはたらきかけが求められるかを、具体的な実践から学びます。 - 4 -

実技講座

生活づくりの中で行われているあそび等について実技の形で学びます。

15 いっしょにあそぼう

【講師】山崎 茂(三波川ふるさと児童館あそびの学校校長)

多くの学童保育は異年令の子どもたちで構成されており、体力にも能力にも幅があります。学童保育の中で楽しめる集団あそびのいくつかを参加者が実際に遊びながら学びます。

運動できる服装、運動靴でご参加ください。 - 3

16 つくってあそぼう

【講師】新島和雄(やばっこスタッフ代表)

とにかく何かを作ることにチャレンジするのはおもしろい。

竹を活用して、モノづくりに挑戦しましょう。竹林から切り出した竹に手を加えれば、どんなモノでもつくれますよネ～！

材料費を別途いただきます。 - 3

* やばっこスタッフとは・・・足利市南西部、矢場川小学校周辺の地域をフィールドに、20代から70代の多彩な顔ぶれが活動するボランティアグループ。合言葉は”子どもと遊べる大人のナット(納豆)ワーク作り”(ネットよりねばっこい)。拘束のない自由な遊びの場こそ、のびのびと力が発揮されるもの。奉仕や義務ではなく、本当の意味のボランティア(自由意志)精神が生きています。

午後の講座の「15 いっしょにあそぼう」に参加される方は、運動のできる服装で。保育室(4歳以上)は準備しますが、十分ではありませんので、なるべく地域で解決してください。必要とされる方は必ず事前に申し込んでください。当日、おやつ代と保険料をいただきます。

申し込み用紙

第30回全国学童保育指導員学校(北関東会場)

氏名	(ふりがな)		性別	男	指導員歴	参加回数
				女	年	回
受講票送り先	(〒)		学童保育所在地	(都道府県名)		
				(市区町村名)		
電話番号	(自宅)	(職場)				
希望講座	第1() 第2() 第3() 必ず第3希望まで書いてください。					
弁当希望	有	無	保育希望	有(歳)	特記事項()	
来場手段	電車(JR足利駅 東武足利市駅) 車(運転 同乗) その他()					

* 参加費 2,000 円 弁当代 700 円 計() 円を添えて申し込みます。

* 駐車場確保の関係で来場手段をお聞きしています。現時点での見込みをご記入ください。

お申し込み

申し込み方法 原則として事前申し込み制です。

受講料2,000円・弁当代700円(希望者のみ)を郵便振替で入金し、その領収書のコピーと必要事項を記入した参加申し込み書を郵送して下さい。

受付期間 **弁当と保育の切は6月12日とします。**

当日参加も可能ですが、午後の講座は定員があり、先着順となります。希望講座欄は第三希望までお書き下さい。

お申し込み・お問い合わせ先は

足利市学童保育連絡協議会
〒326-0045 足利市千歳町67
電話・ファクス 0284(41)8954

郵便振替 00130-3-371770
足利市学童保育連絡協議会

お申し込み後、受講票を発送します。当日、受講票をお持ち下さい。